

ご愛読者の皆さまへ ~定期購読申し込みのお願い~

いつもThe Watch & Jewelry Todayをご愛読いただき、有難うございます。
これまで無料にてご愛読いただいている皆様の郵送を順番にお止めさせていただいております。ご購読を希望する場合は、右のQRコードよりご登録をお願いいたします。定期購読料は、年間8500円です。宜しくお願い申し上げます。

□問い合わせ=株時計美術宝飾新聞社(TEL:03-3833-1886 FAX:03-3833-1886)

保険のご相談は(株)東時へ

本社:03-5817-0353 西日本支社:06-6252-4477



●発行所(株)時計美術宝飾新聞社

●編集発行人 藤井正義
〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2
ジュエラーズスクウェア・オーラム5F
TEL(03) 3833-1886 FAX(03) 3833-1717
<http://www.e-tkb.com>
毎月1日・15日発行
年間購読料8500円/1部450円
振替口座00190-3-57579



THE WATCH & JEWELRY TODAY

ウォッチ&ジュエリー トウディ



「塾生に贈る言葉」。三村理事長によつて塾生に配られたオリジナルのレジメ(冊子)には、「いま私がお伝えしたいこと」というタイトルがつけられ、三村理事長が日頃から大切にする言葉や教えなどが綴られていた。それを読みながら、いくつもの大切なポイントや考え方を伝え続けた。文字にして紙で渡して伝えるだけでは本質は伝わりにくいもので、紙に書き記したもの生の言葉で伝えることで、文字以上のことが伝わるものだ。講話が始まる前に「愛すべき塾生とこれでお別

イナスになることなど、三村氏らしい熱い気持ちが伝えられた。時折感情的になることもあったが、それは三村氏が参加した7期生の10名をはじめ、協力した阿部塾長、武内世話人、JGPの渡邊義久社長などへの感謝の気持ちにも見えた。

講話が終わった後には、塾生は自分の社長(会長)への手紙を書いて閉塾となつた。

7期生の塾生は、最後に「はじめは強制ながら参加した」という塾生が多かったようだが、「同じ境遇や年齢の近

後継者に向け「いま私がお伝えしたいこと」 NGC伝統の品川黄金塾 7期生が卒業

日本最大のジュエリーのボランタリーチェーンとして、商品供給や催事企画だけでなく、加盟店が集まることで生まれる「スケールメリット」を最大限に活かし、コスト削減や新規事業に取り組みながら加盟店を総合的にサポートする協同組合日本ゴールドチェーン(NGC。理事長:三村真二)は、若手の後継者育成を2年間(前期・後期)掛けで集中的に学びの場を提供するNGCの伝統的な事業の一つ品川黄金塾を2023年10月よりスタートさせ、2025年の6月25日に最終日を迎えた。

前期3回と後期3回の計6回を数えた7期生の品川黄金塾の第6回目・最終回では、東京・東上野にあるオーラムで3日間を過ごした。

1日目は塾長 阿部光広氏(新光堂)のあいさつに始まり、続いて世話人 武内瑛氏があいさつ。共に約15年前に6期生として品川黄金塾を卒業した先輩としての言葉が送られた。

続いて特別講演では、「NGC・仲間と

の出会い」をテーマに、(株)ジュエリーカミネの上根学社長が、90分間語った。

その後、企業研修などで使用されることが多い近江生まれの商売人を描いた「てんびんの詩」を鑑賞し、一日を終えた。

2日目は、前半と後半に分かれ「自社の経営計画」が発表された。それを聞い

ていただけた三村理事長は「短期間でみんなの顔つきが変わってきた。NGCはこれま

でも上手に世代交代を進めることができた。こうして

NGCが力を蓄えら

れているのも後継者たちが育っているからこそで、それが今

のNGCの強みでもあると思う。みんな立派だった」と感想を述べていた。

2日目の特別セミナーは、(株)CAFER-

ING代表取締役の青木千秋氏が講師

を務めた。

3日目の最終日は、理事長の講話として2時間が設けられた。テーマは

「7期生参加者10名】

いメンバーと悩みを話せたり、色々な相談ができる、大切な仲間ができる」と全塾生が感極まりながら感想を述べている姿からは、明るい宝飾業界の未来しか見えなかった。

最後に卒業した7期生の塾生から、三村理事長と阿部塾長、武内世話人へ感謝のプレゼントが贈られた。

